

辿り着いた進化の証

お手軽モデルから
本格車載機まで

少しの“精度”の違いが
快適性に多大に影響？

“車載専用”カーナビならではの利点を考察するその前に、“スマホナビアプリ”のメリットとデメリットについて考えてみたい。

アプリごとの性能差や無料か有料かの違いもあるので一概には言えないが、一般的な傾向を分析していく。

まとめ：大田祥三 写真：前田恵介



利点は主に2つある。「初期コストが低く抑えられること」、「地図データが常に最新であること」。

対してデメリットは主に4つある。「画面が小さくて見にくいこと」、「自車位置精度が専用機と比べて劣ること」、「ルート探索の精度が専用機と比べて劣ること」、「ポケット通信料がかかること」、以上だ。

ところで、上記のデメリットのうち、自車位置とルート探索の“精度”については、専用機との違いは小さいと考える方も少なくないかもしれない。しかしその差は、使い心地に大きな差となって現れる。

想像してほしい。レジャーにせよ仕事にせよ、行ったことがない目的地に向かってナビアプリを頼りにドライブしているとき、曲がるべき交差点を1つ間違えたとしたら。わずかに1度のミスにより時間はロスし、リカバーするのにストレスを感じるようになる。“精度”の少しの違いが、レジャーの楽しさを削り、仕事の効率を下げていく。“スマホナビアプリ”を活用しつつ、使いづらさや“精度の低さ”、さらにはポケット通信料の高さを感じたことがあるのなら、“車種専用機”への乗り替えを視野に入れる意義は大いにある。以降のページで、最新鋭機ならではの利点を、そしてプロのアドバイスを掲載していく。それらを参考に、チョイスすべきは何かを、今一度考えてみてはいかがだろうか。



“スマホナビアプリ”があればいい、
そう考えるドライバーが増えつつある。
確かにナビアプリも充分使える。
しかし“車載専用機”には、
それを上回るアドバンテージが備えられている。
そのところを明らかにするための多角的な考察を、
計6ページにわたって展開する。